

寛大に許す人はエホバから祝福される

「エホバが寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりません」。コロサイ 3:13 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバ(*)が寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりません。

130 番の歌 進んで許す

何を学ぶか*エホバは、罪を悔い改める人を快く許してくださる方です。クリスチャンである私たちは、誰かから傷つけられた時、このエホバの手本に倣いたいと思っています。この記事では、私たちが自分で許すことのできる罪と、長老たちに伝える必要がある罪について取り上げます。そして、私たちが許し合うことをエホバが願っているのはなぜか、人を許すならどんな祝福を受けることができるかについても考えます。

1. エホバは罪を悔い改める人にどんなことを約束していますか。

エホバは、私たちが造った方、裁く方、法を定める方であるだけでなく、優しい天のお父さんでもあります。（詩 100:3 エホバが神であることを知れ(*認めよ)。その方が私たちが造った。私たちはその方のもの(if*造ったのは私たちではない)。私たちは神の民、神の牧草地の羊。イザ 33:22 エホバは私たちが裁く方、エホバは私たちのために法を定める方、エホバは私たちの王。私たちが救ってくださる方である) 私たちが罪を犯すとしても心から悔い改めるなら、エホバはその罪を許すことができるだけでなく、許したいと思っています。（詩 86:5 エホバ、あなたは善い方で、快く許してください。あなたに呼び掛ける人全てに、揺るぎない愛を豊かに示してください) 愛の気持ちから、預言者イザヤを通してこう約束しています。「あなたたちの罪は緋のようだが、雪のように白くされる」。（イザ 1:18 エホバはこう言う。「来なさい。私たちの間で物事を正そう。あなたたちの罪は緋(*赤)のようだが、雪のように白くされる。紅の布のように赤いが、羊毛のようになる」)

2. 誰かと親しくなりたいと思うなら、どんなことをする必要がありますか。

2 私たちは皆、完全ではないので、誰かを傷つけるようなことを言ったりしたりしてしまいうことがあります。（ヤコ 3:2 私たちは皆、何度も過ちを犯し(d*つまずき)ます。言葉で過ちを犯さない(d*つまずかない)人がいれば、それは完全な人で、体全体を制御できます) でも、だからといって、親しくなることができないというわけではありません。進んで許すよう努力するなら、親しい関係を築くことができます。（格 17:9 違反を許す(d*覆う)人は愛を示しており、くどくど言う人は親友を引き離す; 19:11 洞察力があればすぐに怒ることはない。過ち(*違反)を見過ごす(d*通り過ぎる)人は美しい。マタ 18:21, 22 その時、ペテロが来て言った。「主よ、仲間が私に罪を犯すとき、何回許すべきでしょうか。7回ですか」。22 イエスは言った。「いいえ、7回ではなく 77 回です) 誰かからちょっとしたことで傷つけられるとしても、私たちが許すことをエホバは願っています。（コロ 3:13 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバ(*)が寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりません) 私た

ちがこのように進んで許すべきなのは、エホバが私たちを惜しみなく「寛大に」許してくださっているからです。（イザ 55:7 悪い行いをやめ、有害な考えを捨てよ。 憐れんでくださるエホバのもとに帰れ。 私たちの神のもとに帰れ。 神は寛大に(*惜しみなく)許してくださる）

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 この記事では、① どうすれば不完全な人間である私たちが、エホバに倣って人を許せるかを考えます。② どんな罪は長老たちに伝える必要があるのでしょうか。③ エホバはなぜ私たちが人を許すことを願っているのでしょうか。④ 他の人の罪のせいで非常につらい経験をした兄弟姉妹の例から、どんなことを学べますか。

クリスチャンが重大な罪を犯した場合

4. (ア) クリスチャンは重大な罪を犯した場合、どんなことをする必要がありますか。(イ) 罪を犯した人に関して、長老たちはどんな役割を果たしますか。

4 誰かが重大な罪を犯した場合、私たちはそのことを長老たちに伝える必要があります。重大な罪とは、神のおきてを大きく踏み越えることです。コリント第一 6 章 9, 10 節 正しくない人が神の王国を授けられることはない、ということを知らないのですか。思い違いをして(*だまされて)はなりません。性的に不道徳な人(*), 偶像を崇拝する人, 姦淫をする人, 同性愛行為に身を任せる人(同性愛行為において女役をする男性と考えられる), 同性愛にふける人(d*男性と寝る男性。同性愛行為において男役をする男性と考えられる), 10 盗む人, 貪欲な人, 酩酊する人, ののしる人, 脅し取る人が神の王国を授けられることはありませんには, その例が挙げられています。クリスチャンは重大な罪を犯した場合、許しを求めてエホバ神に祈り、長老たちに話す必要があります。（詩 32:5 私はついに自分の罪をあなたに告白した。過ちを隠さなかった。「違反をエホバに告白しよう」と言った。すると、あなたは過ちと罪を許してくださった。ヤコ 5:14 病気の人がいますか。その人は会衆(*)の長老たちを呼んでください。そして、自分のために祈ってもらい、エホバ(*)の名によって油を塗ってもらってください）長老たちはどんな役割を果たすのでしょうか。罪を完全に許すことができるのはエホバだけです。エホバは贖いの犠牲に基づいて許してくださいます。*「ものみの塔」1996 年 4 月 15 日号の「読者からの質問」を参照。それでもエホバは、長老たちに大きな責任を委ねています。罪を犯した人が会衆にとどまれるかどうかを聖書に基づいて判断するという責任です。（コリ 1:12 私は外部の人たちを裁く立場にあるでしょうか。皆さんは内部の人たちを裁くのであり）長老たちはこの責任を果たすために、次のようなことを考えます。その人は①前もって計画した上で罪を犯したのだろうか。②罪を隠そうとしていただけだろうか。③ある程度の期間にわたって繰り返し罪を犯したのだろうか。最も重要なこととして、④その人は心から悔い改めていることをはっきり示しているだろうか。⑤エホバがその人を許していることが明らかだろうか。（使徒 3:19 ですから、罪を消し去っていただくために、悔い改めて生き方を変え(d*方向転換)なさい。そうすれば、爽やかにする時期がエホバ(d*エホバの顔)から来て）

5. 長老たちの働きはどんな良い結果をもたらしますか。

5 長老たちは、罪を犯した人と話し合う時、自分たちの決定が天ですすでに下されている決定と同じものになることを目指します。（マタ 18:18 何でもあなたが地上で縛るものは天ですすでに縛られており、何でもあなたが地上で解くものは天ですすでに解かれています）この取り決めが会衆のためになると言えるのはなぜでしょうか。① 罪を悔い改めない人を会衆から除くことによって、エホバが大切にしている羊を守ることができるからです。（コリ 5:6, 7 少しのパン種(*酵母)が生地全体を発酵させることを知らないのですか。7 古いパン種を取り除き、新しいパン生地であってください、11-13）それで、私は今こう書きます。兄弟と呼ばれる人で、性的に不道德な人(*), 貪欲な人、偶像を崇拝する人、ののしる人、酩酊する人、脅し取る人がいれば、そのような人とは接するのをやめなさい。一緒に食事をしてもなりません。12 私は外部の人たちを裁く立場にあるのでしょうか。皆さんは内部の人たちを裁くのであり、13 神が外部の人たちを裁くではありませんか。「皆さんの中から悪い人を除きなさい」。テト 3:10, 11 分派を生じさせる人については、一度、またもう一度訓戒(*警告)した後、退けなさい。11 そのような人は、悪いと分かっているが、道から外れて罪を犯しています）そして、② 悔い改めてエホバからの許しを得られるよう、罪を犯した人を助けることにもなるかもしれません。（ルカ 5:32 私は、正しい人ではなく罪人を悔い改めに導くために来しました）長老たちは、罪を悔い改めた人のためにエホバに祈り、エホバとの絆を取り戻せるようその人を助けます。（ヤコ 5:15 信仰の祈りは病気の人(*疲れている人)を良くし、エホバ(*)がその人を起き上がらせてくださいます。また、その人が罪を犯したのであれば、許されます）

6. 排斥されたとしても、エホバに許していただくことはできますか。

6 長老たちと話し合った時点で、罪を犯した人が悔い改めていない場合は、どうなるのでしょうか。その人は会衆から排斥されることになります。その人が国や地域の法律を破った場合、長老たちはその人が罰を受けないようにかばうことはしません。エホバは、誰であれ法律を破った人を裁いたり罰したりする権限を政府に与えています。その人が悔い改めていてもいなくても、このことに変わりはありません。（ロマ 13:4 権威者は神の奉仕者であり、あなたのために働きます。しかし、もしあなたが悪いことを行っているのであれば、恐れるべきです。権威者は目的もなく剣を帯びているわけではないからです。神の奉仕者なのであり、悪いことを行い続ける人に憤りを表明する(*処罰を加える)復讐者なのです）では、排斥された人が、後に本心に立ち返り、心から悔い改めて生き方を変える場合はどうでしょうか。エホバはその人を快く許してくださいます。（ルカ 15:17-24 24 私のこの息子が死んでいたのに生き返ったのです。いなくなっていたのに見つかりました）犯した罪がとても大きなものであったとしてもそうです。（代二 33:9 マナセはユダとエルサレムの住民を感らし続け、イスラエル人の前からエホバが滅ぼし尽くした国々よりも悪いことを行わせた、12, 13 マナセは苦難の中、エホバ神に恵みを求め、父祖たちの神の前でとても謙遜になった。13 彼が神に祈り続けたので、神はその懇願に心を動かされ、恵みを求める願いを聞き、彼をエルサレムでの王位に復帰させた。こうしてマナセはエホバこそ真の神であると悟った。テモ 1:15 キリスト・イエスは罪人を救うために世に来た、という言葉は真実であり、全面的に受け入れるべきものです。私はそのような罪人の中でも最も罪深い者です）

7. 誰かが私たちに対して罪を犯した場合、その人を許していることをどのように示せますか。

7 罪を犯した人を許すかどうかはエホバが決めることであり、私たちが決める必要はありません。これは本当にうれしいことです。とはいえ、私たちが決めなければならないこともあります。

誰かが私たちに対して罪を犯し、その後、許しを求めて謝ってくるかもしれません。あるいは、謝ってこない場合もあるでしょう。いずれにしても、私たちは相手を許すことにし、その人に対する憤りや怒りを捨てるよう努力できます。もちろん、そうするには時間や努力が求められるでしょう。深く傷つけられた場合は特にそうです。「ものみの塔」1994年9月15日号にはこう述べられています。「罪を犯した人をあなたが許す時、それは罪を大目に見ているのではないということを理解しておきましょう。クリスチャンにとって、許すとはエホバを信頼して、そのみ手のうちに問題を委ねることを意味します。エホバは全宇宙の義なる裁き主でありますから、ふさわしい時に公正を行なってください」。エホバは、私たちが快く許し、裁きをご自分に委ねることを願っています。それはなぜでしょうか。

私たちが快く許すことをエホバが願っているのはなぜか

8. エホバの憐れみに対する感謝をどのように示せますか。

8 許すなら、感謝を示すことになる。イエスはある時、エホバを1人の主人に例えました。この主人は、ある奴隷の自分では返し切れないほど巨額の借金を取り消してあげました。しかしこの奴隷は、自分からわずかな額を借りていた仲間の奴隷に憐れみを示そうとしませんでした。（[マタ 18:23-35](#)³⁵ もしあなたたち各自が仲間を心から許さないなら、天の父もこの主人と同じようにします）イエスは何を教えようとしていたのでしょうか。私たちは、エホバから示していただいている大きな憐れみに心から感謝しているなら、人を許そうとするはずです。（[詩 103:9](#) いつも非難するのでも、ずっと憤ったままでいるのでもない）私たちが人を何回許すとしても、神がキリストを通して与えてくださる許しや憐れみとは決して比較にならないのです。

I. マタイ 6:14, 15 から許すことについてどんなことを学びましたか

9. エホバはどんな人に憐れみを示しますか。（[マタイ 6:14, 15](#)）

9 許すなら、自分も許していただける。エホバは憐れみ深い人に憐れみを示します。（[マタ 5:7](#) 憐れみ深い人たちは幸福です。憐れみを受けるからです。[ヤコ 2:13](#) 憐れみを示さない人は、憐れみを示されることなく裁かれます。憐れみは裁きに打ち勝つのです）イエスは弟子たちに祈り方を教えた際、この点を明らかにしました。（[マタイ 6:14, 15](#) 人の過ちを許すなら、天の父もあなたたちを許してくださいます。15 逆に、人の過ちを許さないなら、父もあなたたちの過ちを許されませんを読む。）また、エホバが忠実なヨブに語った言葉からも、同じ点を学べます。ヨブは、エリパズ、ビルダド、ツォファルからひどいことを言われ、深く傷つきました。それでも、エホバはヨブに対して、その3人のために祈るようにと言いました。そして、ヨブが祈ると、エホバはヨブを祝福しました。（[ヨブ 42:8-10](#)¹⁰ ヨブが友人たちのために祈った後、エホバはヨブの苦難を取り去り、再び豊かな生活を送らせた（d*エホバは捕らわれていたヨブを戻した）。エホバは、ヨブが以前に持っていた物を、2倍にして与えた）

II. エフェソス 4:31, 32 から許すことについてどんなことを学びましたか

10. 憤りを抱き続けるなら、自分を傷つけることになるのはなぜですか。（[エフェソス 4:31, 32](#)）

10 憤りを抱き続けるなら、自分を傷つけることになる。エホバは、私たちが憤りという重い荷物を下ろして楽になることを願っています。（エフェソス 4:31, 32 あらゆる悪意、怒り、憤り、わめき、暴言など、一切の有害な事柄を捨て去ってください。32 親切な人になり、温かい思いやりを示し合い、神がキリストによって寛大に許してくださったように、寛大に許し合いましょうを読む。）それで、「怒るのをやめ、激怒を捨てよ」と勧めています。（詩 37:8 怒るのをやめ、激怒を捨てよ。腹を立てて悪を行ってはならない(*腹を立ててはならない。害をもたらすだけだ)）このアドバイスに従うことは、私たちのためになります。憤りを抱き続けることは、心にも体にも良くありません。（格 14:30 穏やかな心は体に良く(*命を与え)、嫉妬は骨を腐らせる) 憤りを抱き続けても、自分を傷つけるだけで、相手には何の影響もありません。自分が毒を飲んで相手には何の影響もないのと同じです。ですから、人を許すことは自分のためになります。（格 11:17 親切である(*揺るぎない愛を示す)ことは自分のためになり、残酷な人は自分を苦しい目に遭わせる(*の名誉を傷つける)）思いと心が穏やかになり、エホバに仕え続けることができるのです。

Ⅲ. ローマ 12:19-21 から許すことについてどんなことを学びましたか

11. 復讐することについて、聖書には何と書かれていますか。（ローマ 12:19-21）

11 復讐はエホバがする。エホバは私たちに対して、誰かに復讐する権威を与えてはいません。（ローマ 12:19-21 愛する皆さん、復讐してはなりません。神の憤りに任せましょう。「『復讐は私がすることであり、私が報復する』とエホバ(*)は言う」と書いてあるからです。20 「敵が飢えているなら、食べさせましょう。喉が渴いているなら、飲む物を与えましょう。そうすれば、燃える炭をその人の頭の上に積む(いわばその人の固い心を溶かし、態度が和らぐようにする、ということ)ことになるのです」。21 悪に征服されてはなりません。善によって悪を征服し続けましょうを読む。）私たちは完全ではありませんし、全体を見ることができないので、エホバのように正しく裁くことはできません。（ヘブ 4:13 全てのものは神から見て裸で、さらけ出されて）時には、感情に流されてふさわしい判断を下せないこともあります。ヤコブは、エホバの聖なる力に導かれて、「怒りの気持ちからは、神が求める正しさは生まれません」と書きました。（←ヤコ 1:20）エホバはいつも正しいことを行い、必ず公正が行われるようにしてくださるのです。



怒りや憤りを捨て、物事をエホバの手に委ねることは大切。エホバは、罪の結果生じた悪いこと全てを除き去ってくださる。（12 節を参照。）

12. エホバが公正な方であることへの確信をどのように示せますか。

12 許すなら、エホバが公正な方であることへの確信を示せる。物事をエホバに委ねるなら、私たちはエホバへの確信を示せます。罪の結果生じた悪いこと全てをエホバが除き去ってくださる、という確信です。エホバが約束している新しい世界では、つらい記憶はもはや「思い出されることも、心に浮かぶこともない」のです。（←イザ 65:17 私は新しい天と新しい地を創造している。以前の事柄は思い出されることも、心に浮かぶこともない）とはいえ、ひどく傷つけられた場合、憤りや怒りの気持ちを捨てることなど本当にできるのでしょうか。そうできた人たちの例を考えてみましょう。

人を許すことから得られる祝福

13-14. トニー兄弟とホセ兄弟の例から、許すことについてどんなことを学べますか。

13 大勢の兄弟姉妹が、ほかの人の行動によって深く傷ついたにもかかわらず、許すことにしました。そのようにしてどんな祝福を味わっているのでしょうか。

14 フィリピンに住むトニーという男性は、聖書を学ばずと前、自分の兄がホセという男性に殺されたことを知りました。*一部の名前は変えてあります。当時、トニーは怒りっぽく攻撃的な性格だったので、復讐してやる、と思っていました。ホセは逮捕され、刑務所に送られました。その後、ホセが釈放されると、トニーは、ホセを必ず見つけて殺してやる、と心に誓いました。そして、銃を購入しました。でもトニーは、やがてエホバの証人と聖書を勉強し始めました。トニーはこう言います。「聖書を学んで、自分を変え、怒りの気持ちを捨てなければいけない」ということが分かりました」。やがてトニーは、バプテスマを受け、その後長老に任命されました。一方、ホセもバプテスマを受けたエホバの証人になっていました。そのことを知ったトニー兄弟は、本当に驚きました。後に、2人は直接会うことになり、温かいハグを交わしました。そして、トニー兄弟はホセ兄弟を許していることを伝えました。トニー兄弟はこう言います。「こうして許すことができたので、本当に大きな喜びを味わっています。この気持ちは言葉では言い表せません」。確かにエホバは、快く許したトニー兄弟を祝福したのです。



ピーター兄弟とスー姉妹の例から分かる通り、私たちも怒りや憤りを捨てることができる。（15-16 節を参照。）

15-16. ピーター兄弟とスー姉妹の例から、許すことについてどんなことを学べますか。

15 1985 年、ピーター兄弟とスー姉妹が王国会館で集会に出席していた時、突然大きな爆発が起きました。ある男性が王国会館に爆弾を仕掛けていたのです。スー姉妹は重傷で、目と耳に大きな損傷を負い、嗅覚を失いました。*「目ざめよ！」1992 年 1 月 8 日号 9-13 ページを参照。JW Broadcasting®の「ピーターとスー・シュルツ: ト라우マを乗り越えました」の動画も参照。ピーター兄弟とスー姉妹は、「誰がこんなひどいことをしたのだろうか」と幾度も考えました。何年も後、エホバの証人ではない男性がこの件で逮捕され、終身刑を言い渡されました。2 人は犯人を許すかどうかと尋ねられて、こう答えました。「エホバは、怒りや憤りを持ち続けるなら、心にも体にも良くないと教えてくれています。それで、事件の後すぐに、怒りや憤りを捨てて穏やかに生きていくことができるように助けてください、とエホバにお願いしました」。

16 ピーター兄弟とスー姉妹にとって、許すのは簡単なことだったのでしょうか。そうではありません。2 人はこう言っています。「スーがけがの影響で苦しむ時には、怒りの気持ちがこみ上げてくることがあります。でも、そうしたことについて考え続けないようにするので、すぐに気持ちが穏やかになります。心から言えることですが、犯人がいつかエホバの証人になったなら、喜んで迎え入れたいと思っています。この経験を通して、聖書の教えを当てはめるなら本当の自由を味わえる、ということを知りました。想像以上の自由です。そして、間もなくエホバが私たちの痛みや苦しみを全て除き去ってくださる、ということを知っているので、本当に慰められています」。

17. マイラ姉妹の例から、許すことについてどんなことを学べますか。

17 マイラ姉妹は、真理を学んだ時、すでに結婚していて、幼い子供が 2 人いました。夫は真理を受け入れず、やがて姦淫を犯し、家を出ていきました。姉妹はこう言います。「夫が私と子供たちを捨てて出ていった時、私は愛する人に裏切られた人たちの多くが感じるのと同じような気持ちを味わいました。ショックを受け、人を信じられなくなり、自分を責め、悲しみや後悔や怒りを感じました」。結婚生活は終わりましたが、裏切られた心の痛みは残りました。姉妹はさらにこう言います。「そうしたつらい気持ちに何カ月も苦しめられました。そして、そのせいでエホバやほかの人との関係に影響が出ていることに気付きました」。姉妹は、今では怒りの気持ちを捨て、以前の夫に対して悪感情を持ってはいません。それどころか、いつかエホバに仕えるようになってほしいと思っています。姉妹は将来に目を向けることができます。エホバに仕えるよう、2 人の子供を 1 人で育て上げました。今では、子供たちや子供たちの家族と一緒にエホバに仕えることから喜びを味わっています。

エホバの裁きは完全

18. 裁く点で最高の方であるエホバは、どんなことを行ってくださいますか。

18 うれしいことに、私たちは誰かを裁くという荷を負う必要はありません。裁く点で最高の方であるエホバが行ってくださるからです。（ローマ 14:10-12 それなのに、あなたはなぜ兄弟を批判するのです

か。なぜ兄弟を見下すのですか。私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになります。11 こう書かれているからです。「エホバ(*)は言う。『生きている私自身に懸けて誓う。全ての人は私に向かってひざまずき、神への確信を言い表す(*全ての膝は私に向かってかがみ、全ての舌は神への確信を言い表す)』」。12 私たち一人一人は、神に責任を問われることになるのです) エホバは必ず、善悪に関する完全な基準に従って裁きを行ってくださいます。(創 18:25 邪悪な人と一緒に正しい人も滅ぼして、正しい人と邪悪な人を同じ目に遭わせるようなことを、あなたがなさるはずはありません。あなたに限ってあり得ないことです。地上の人全てを裁く方は、正しいことを行われるのではありませんか。王 8:32 あなたが天からお聞きになって裁きを行い、悪い人には有罪と宣告して相応の罰を与え、正しい人には無罪と宣告して、その正しさに応じた報いをお与えになりますように) エホバが不正を行うことは決してないのです。

19. エホバの完全な裁きによって、どんなことが成し遂げられますか。

19 私たちは、エホバが不完全さや罪の結果生じた悪いこと全てを除き去ってくださる時を心待ちにしています。その時、心の傷も体の傷も、全てが完全に癒やされます。(詩 72:12-14 王は、助けを求めて叫ぶ貧しい人を救い出す。立場が低い人や誰にも助けてもらえない人も。13 立場が低い人や貧しい人を哀れに思い、貧しい人の命を救う。14 虐げと暴力からその人たちを助け出す(d*買い戻す)。彼らの血は王の目に貴いものとなる。啓 21:3, 4) その時、王座から大きな声がした。「見なさい！ 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」) それらを思い出すことさえなくなるのです。では、その素晴らしい時が来るまで、エホバがご自分に倣えるよう助けてくださることに感謝しつつ、人を快く許すようにしましょう。

以下の聖句から、許すことについてどんなことを学びましたか

I. マタイ 6:14, 15 から許すことについてどんなことを学びましたか

II. エフェソス 4:31, 32 から許すことについてどんなことを学びましたか

III. ローマ 12:19-21 から許すことについてどんなことを学びましたか

18 番の歌 贖いに感謝する

^ (コロ 3:13) 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバ*が寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりません。

付録 A5 参照。

^ (詩 100:3) エホバが神であることを知れ*。その方が私たちを造った。私たちはその方のもの*。私たちは神の民、神の牧草地の羊。